



2015年4月15日

おきぎん県内景況・確報 2015年2月

-県内景況は、拡大している-

○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月上回る。百貨店売上高も上回る。
家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。
新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動などで前年同月を下回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月上回る。
住宅投資・建設資材…着工戸数、生コンは前年同月上回り、セメントは下回る。

○観光関連

入域観光客数…29ヵ月連続で前年同月上回る。
観光施設入場者数…12ヵ月連続で前年同月上回る。
主要大型ホテル稼働率…リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月上回り、シティホテルは下回る。
ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価は前年同月上回り、宿泊収入も上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月上回る。
有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(1月)…前月より下落。
大口電力使用量…前年同月上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月上回り、ガソリン(レギュラー・軽油)価格は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2015年2月分)

◎2015年2月 おきぎん「カトレア」景況図



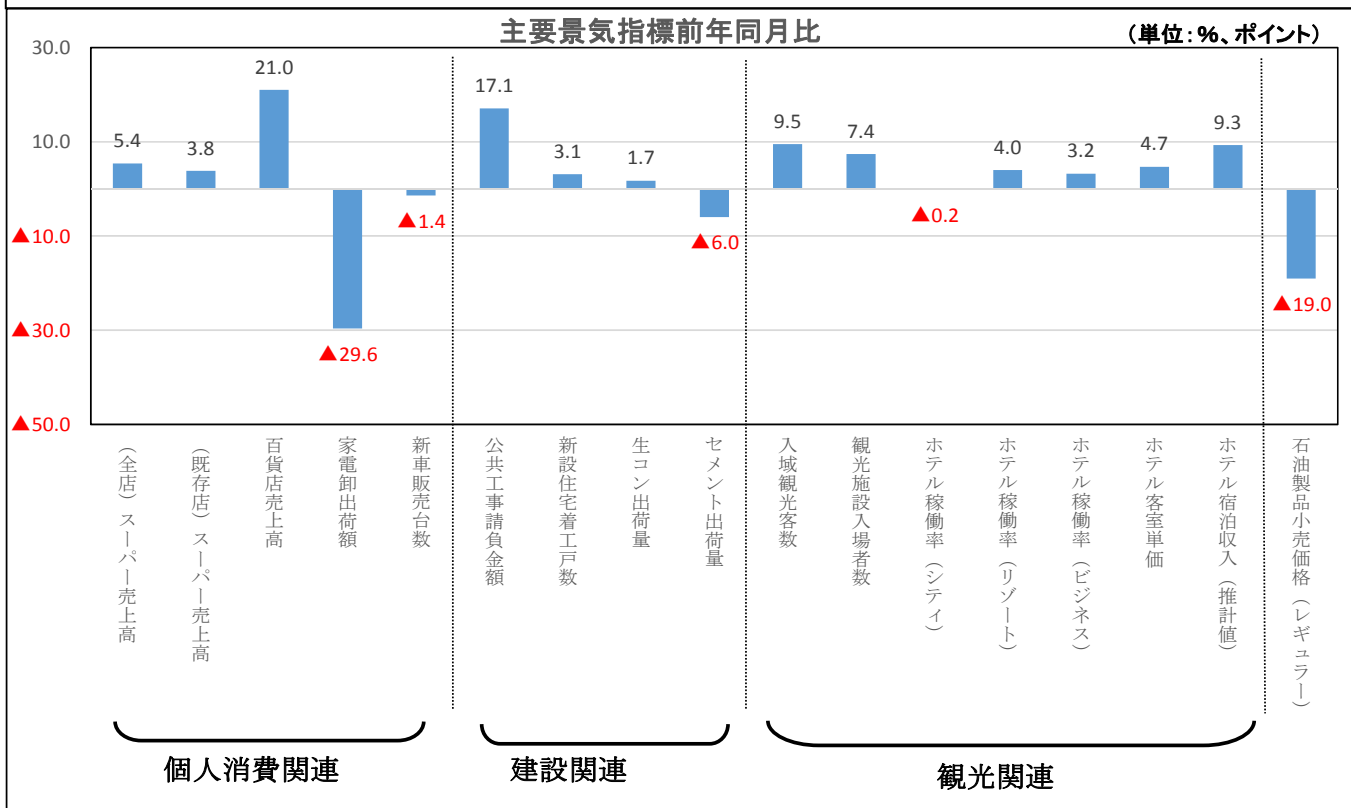
◎概況： 県内景況は、拡大している。

2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村発注の大型工事などで前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コンも上回りましたが、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は29ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はリゾートホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から13ヵ月連続で判断維持)

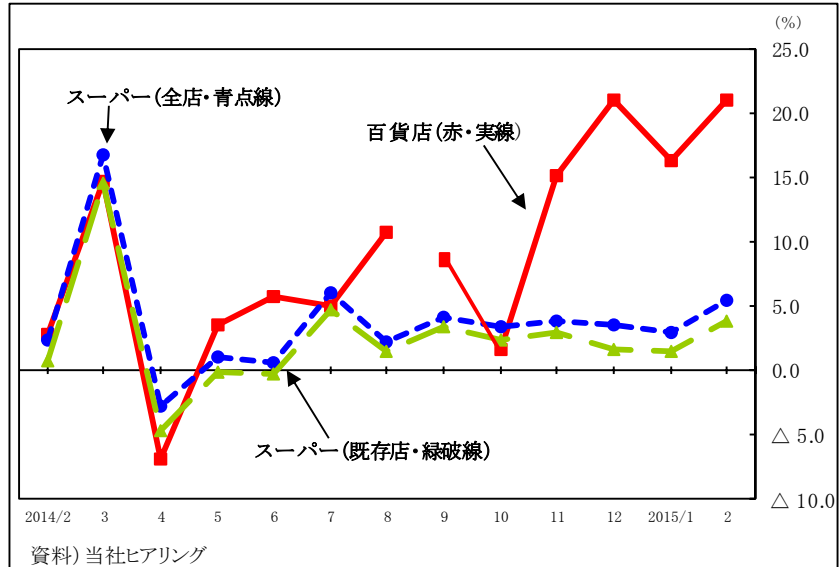




■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2014/2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3
2	5.4	3.8	21.0



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

2月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 5.4%増)**」が10ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規出店効果や旧正月需要(昨年:1月31日⇒今年:2月19日)などからウェイトの高い「食料品(同 7.0%増)」を中心に売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。

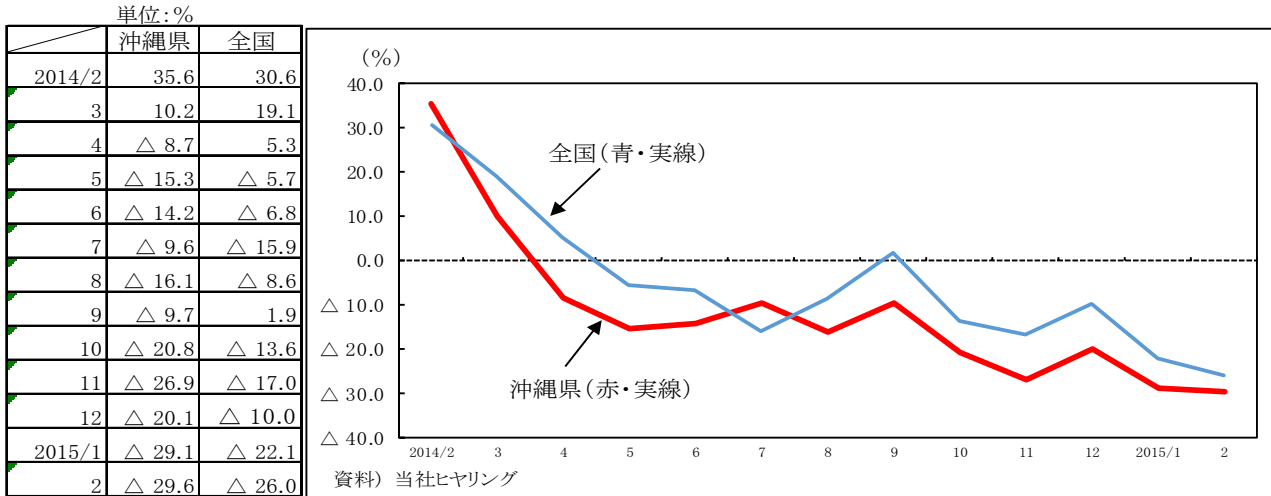
「**既存店ベース(同 3.8%増)**」は一部店舗の改装による集客効果などから8ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 5.1%増)」は、旧正月需要のほか、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。また、「衣料品(同 4.7%増)」は気温が低く推移したことから、冬物衣料の売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。一方、家電を含む「家庭用品(同 1.4%減)」は訪日観光客向けの雑貨需要(化粧品、小物類など)がみられたものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回りました。

百貨店売上高*は、「衣料品」や「食料品」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同 21.0%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 13.5%増)」はバーゲンセールや販促強化による集客効果などから売れ行きが好調で、「婦人服(同 11.8%増)」を中心に前年同月を上回りました。「食料品(同 14.7%増)」は、一部フロアが改装期間であったものの、ギフト催事の売り場拡大や訪日観光客による旧正月需要などから、前年同月を上回りました。

また、「雑貨(同 35.5%増)」や「身の回り品(同 20.7%増)」なども訪日観光客向けの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

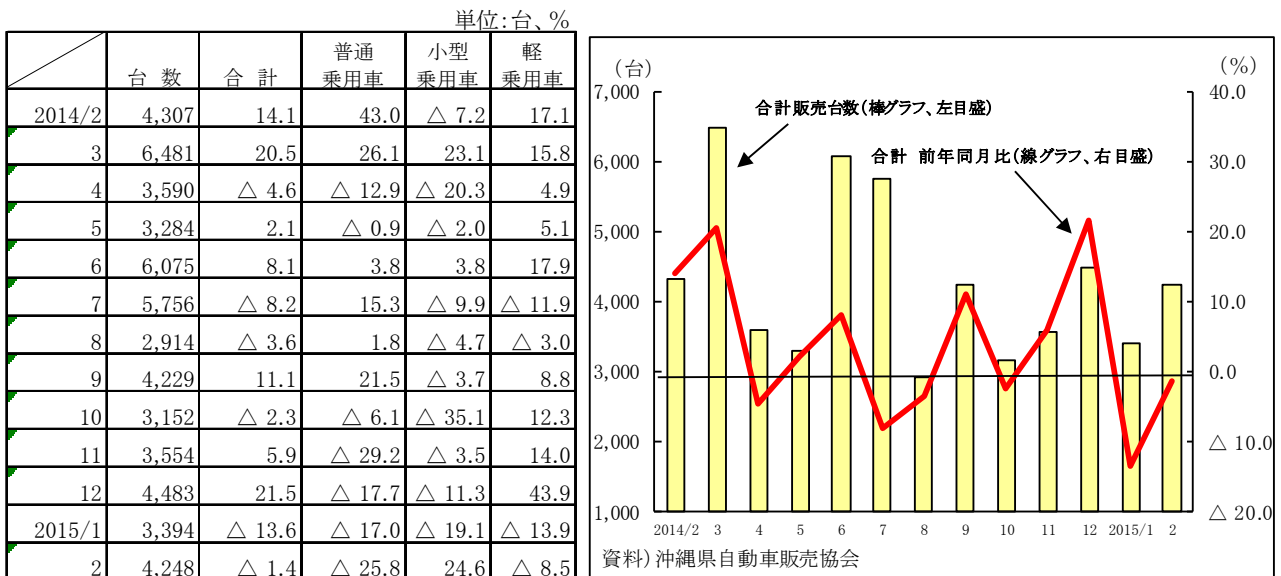
②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネルの売上減少に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が加わり、11ヵ月連続で前年同月を下回りました(同29.6%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同81.0%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いています。「テレビ(同7.4%減)」は4Kなどの新型モデルの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「エアコン(同23.2%減)」、「冷蔵庫(同49.4%減)」や「洗濯機(同28.3%減)」といった白物家電全般も、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,248台(同1.4%減)となり、レンタカー需要の増加がみられたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから2ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別にみると「小型乗用車(同24.6%増)」が8ヵ月ぶりに上回ったものの、「普通乗用車(同25.8%減)」が5ヵ月連続、「軽乗用車(同8.5%減)」が2ヵ月連続で下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

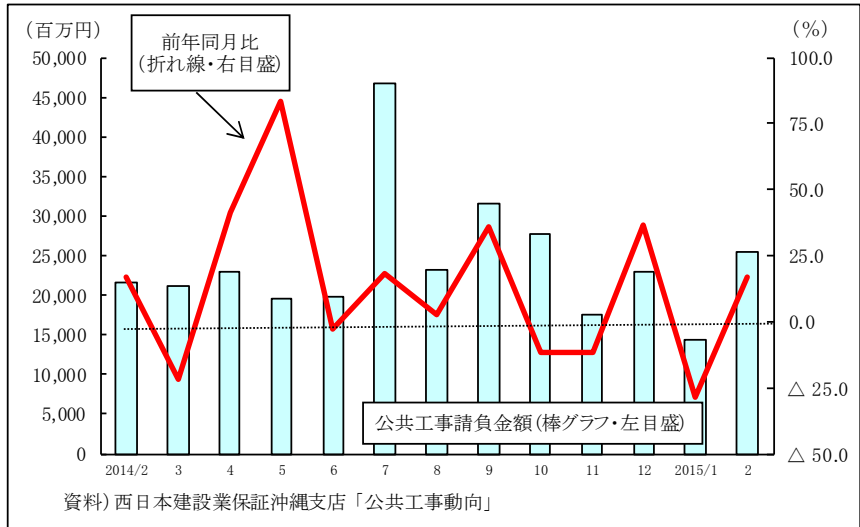


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1



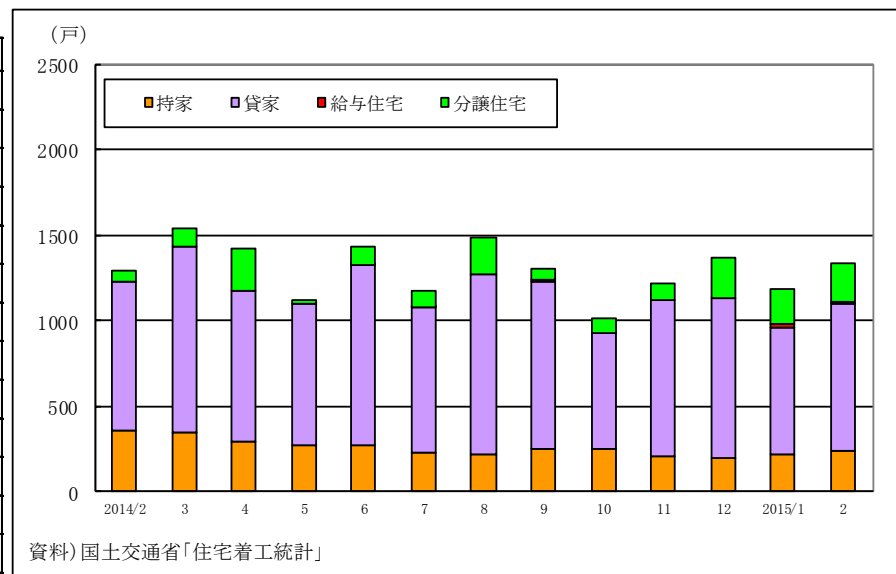
2月の公共工事請負金額は、前年同月比17.1%増の253億8,400万円となりました(2ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「国(同93.5%増)」がシワブ関連工事や高架橋関連工事など、「市町村(同55.8%増)」が小中学校関連工事などで前年同月を上回った一方、「沖縄県(同43.0%減)」は前年あった沖縄クラウドデータセンター関連工事の反動、「その他の公共的な団体(同59.0%減)」は前年あった教育施設建替え及び併行防音工事の反動などで前年同月を下回りました。

②住宅投資等…着工戸数、生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2014/2	1,298	11.7
3	1,540	39.6
4	1,418	36.2
5	1,116	25.0
6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0
8	1,482	△5.3
9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1



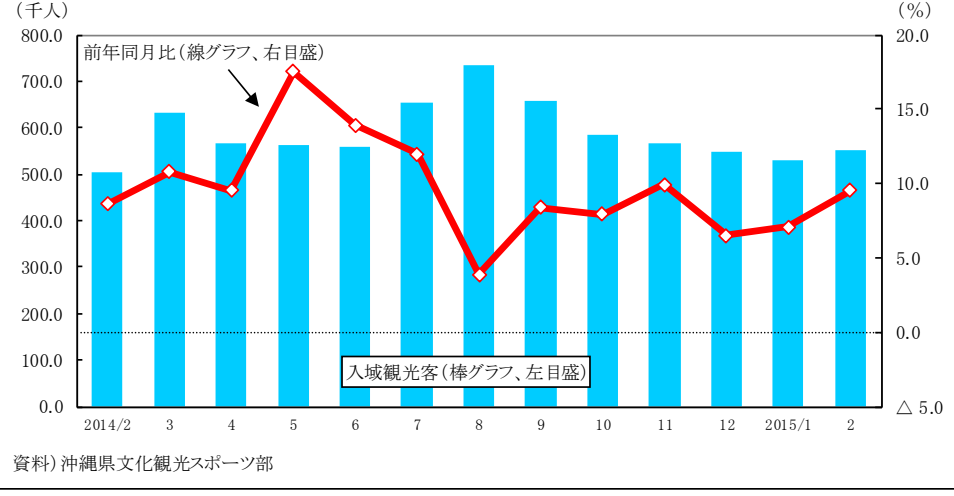
2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比3.1%増の1,338戸と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同1.0%減)」、「持家(同32.7%減)」が前年同月を下回ったものの、「分譲住宅(同219.4%増)」が前年同月を上回り、全体を押し上げました。建設資材関連では、生コンの出荷量は1.7%増加し、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より10.3%上回ったものの、民間工事向け出荷は3.0%下回りました。セメントの出荷量は6.0%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…29ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	733.3	3.9
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5

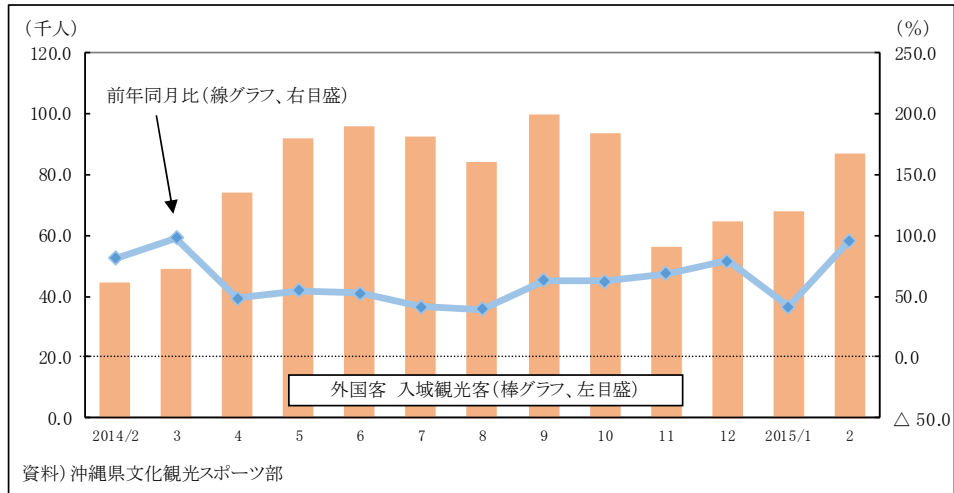


※外国客は乗務員等を含む

※上記2014年8月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(平成27年3月20日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…19ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/2	44.3	80.8
3	48.7	98.0
4	73.9	48.1
5	91.7	54.4
6	95.5	52.8
7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7



※外国客は乗務員等を含む

2月の入域観光客数は、47,800人多い550,900人(前年同月比9.5%増)となり、29ヵ月連続で前年同月を上回りました。(2月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同1.2%増)」は464,200人と、一部で航空路線運休の影響(成田、名古屋、神戸等)がみられたものの、プロ野球誘客効果や航空路線の拡充効果(羽田-石垣、伊丹-那覇路線)等により16ヵ月連続で前年同月を上回りました。他方、「外国客(同95.7%増)」は、86,700人と19ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年に比べ、春節(旧正月)の時期が後ろにずれた(昨年:平成26年1月31日⇒今年:平成27年2月19日)ことなどにより中国本土からの入込が大幅に増加したほか、航空路線の拡充等により各方面からの入込も好調に推移したことから、前年同月を上回りました。「台湾(同55.0%増)」「韓国(同70.6%増)」「中国本土(同500.0%増=6倍)」「香港(同76.3%増)」

※乗務員等を除く2015年2月実績=全体546,600人(同9.3%増)、外国客82,400人(同99.5%増)、国内客は変わらない。

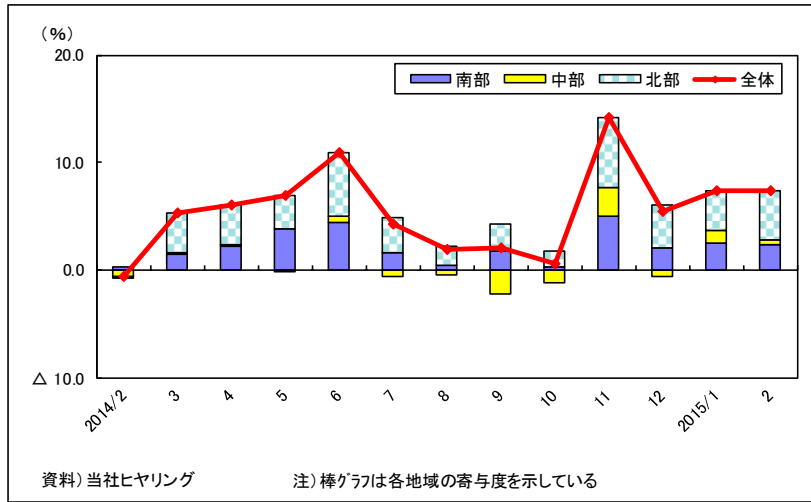
※参考 春節に伴う旅行需要がみられた月の中国本土からの入域観光客数 【2013年2月⇒1,300人】、【2014年1月⇒11,500人】、【2014年2月⇒3,500人】、【2015年2月⇒21,000人】

②観光施設入場者数…12ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/2	△ 0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△ 4.6	6.0
8	1.8	1.3	△ 3.0	3.4
9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.1	3.1	9.5

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より7.4%増加(12ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.1%増と16ヵ月連続、中部は同3.1%増と2ヵ月連続、北部は同9.5%増と12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

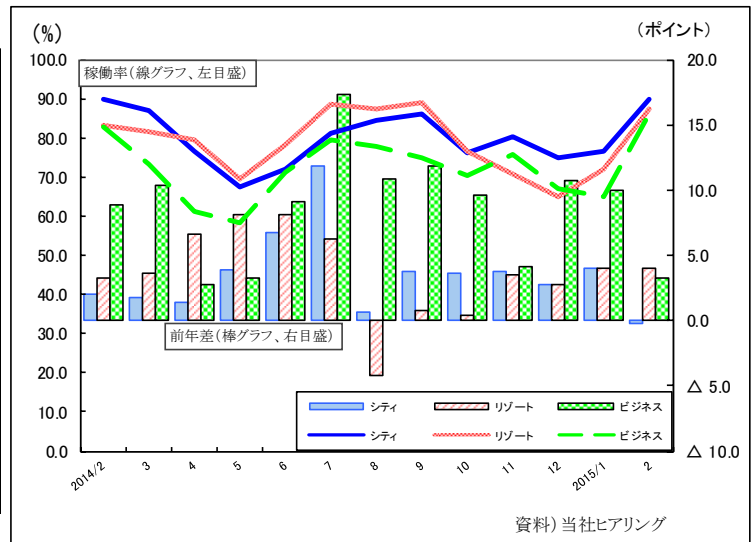
③ホテル稼働率…リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテルは下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/2	r 89.9	r 83.4	82.9	r 2.0	r 3.3	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△ 0.2	4.0	3.2

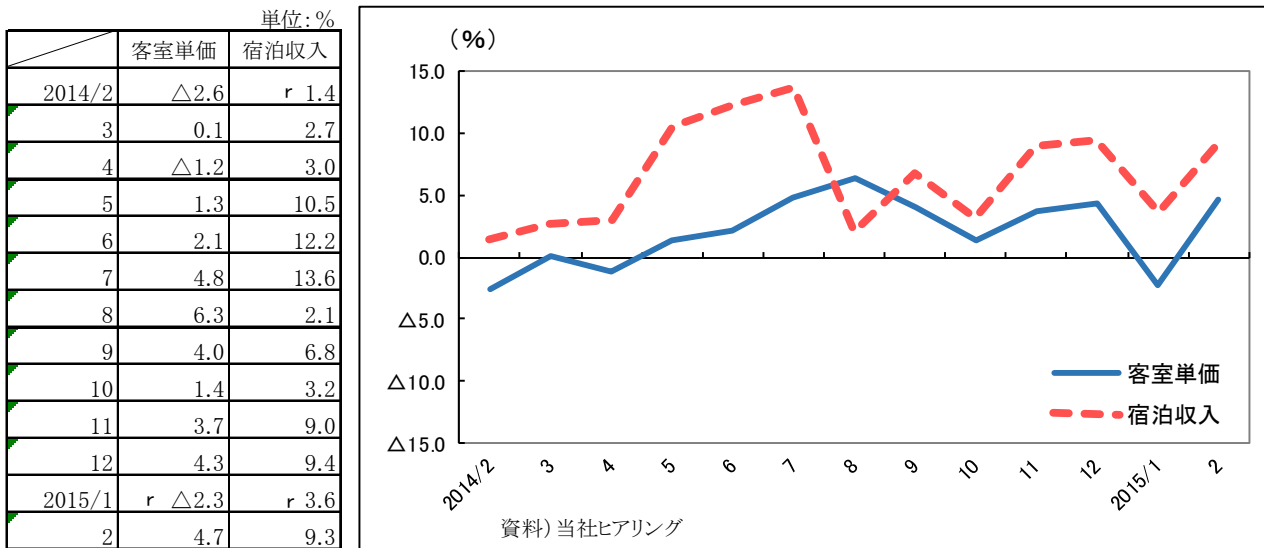
注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが89.7%と0.2ポイント下落(15ヵ月ぶり)、リゾートホテルが87.4%と4.0ポイント上昇(6ヵ月連続)、ビジネスホテルが86.1%と3.2ポイント上昇(16ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数: 29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

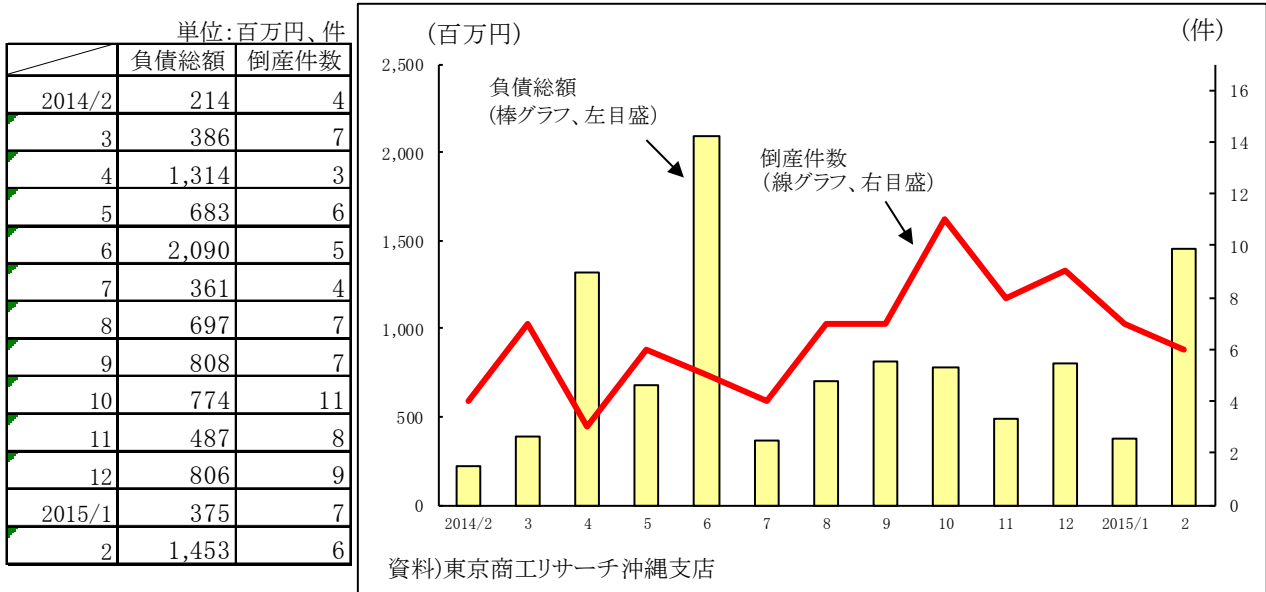
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 4.7%増と前年同月を上回ったほか、宿泊収入も同9.3%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

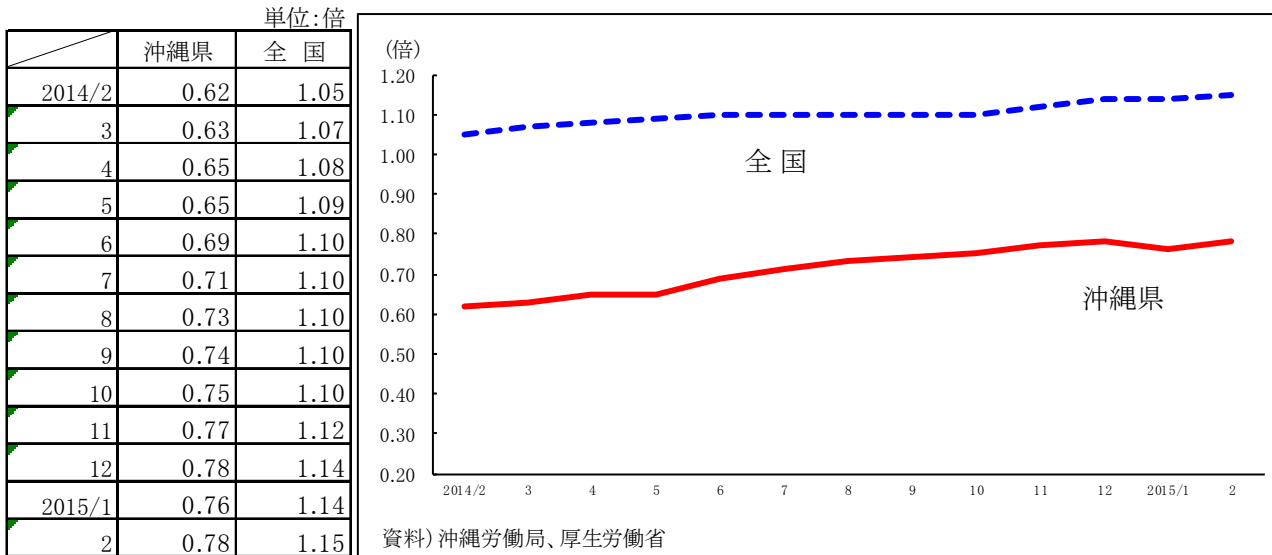
企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。



2月の**企業倒産件数**は、6件(うち、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より2件多く、負債総額は14億5,300万円と579.0%増加しました。

■雇用関連:  (やや良い)


①有効求人倍率…前月より上昇。



注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

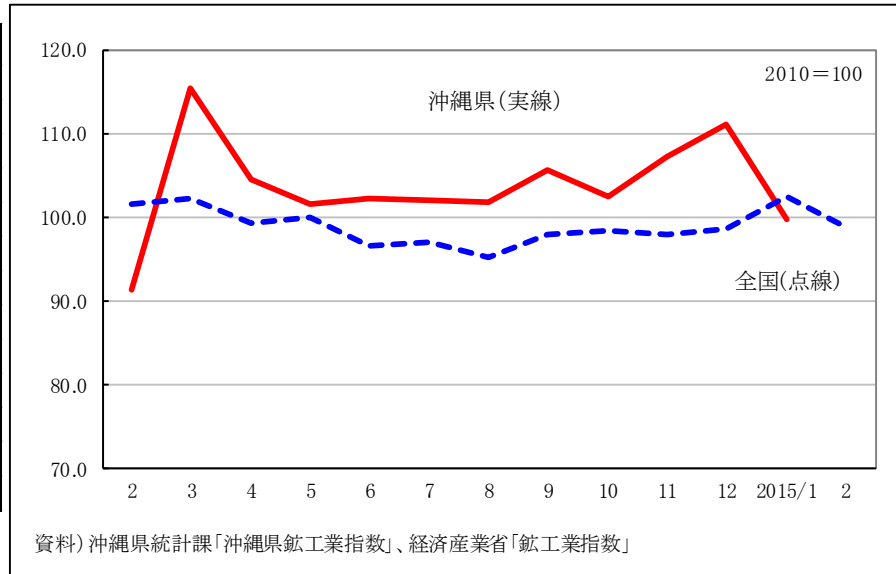
2月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.1%増の22,825人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.4%減の29,416人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は6.1%となり、前年同月より1.4ポイント上昇しました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数(1月)…前月より下落。

	沖縄県	全国
2	91.4	101.5
3	115.3	102.2
4	104.5	99.3
5	101.5	100.0
6	102.2	96.6
7	102.0	97.0
8	101.7	95.2
9	105.6	98.0
10	102.4	98.4
11	107.2	97.9
12	111.1	98.7
2015/1	99.7	102.4
2	-	98.9

注) 数値は季節調整済指数

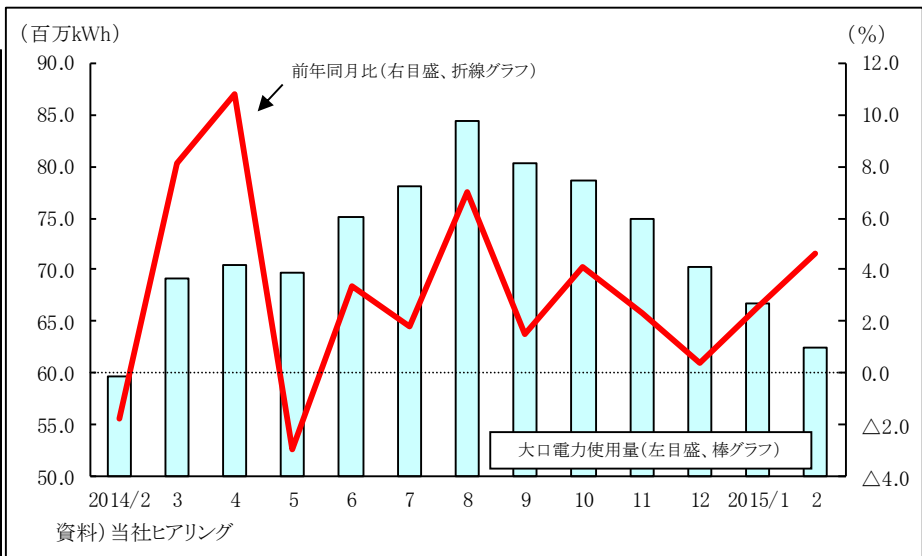


鉱工業生産指数(県内:1月)は、前月より10.3%下落し、99.7となりました。産業別にみると、「その他の工業(同59.0%減)」や「鉄鋼業(同16.9%減)」、「化学・石油製品工業(同9.4%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%

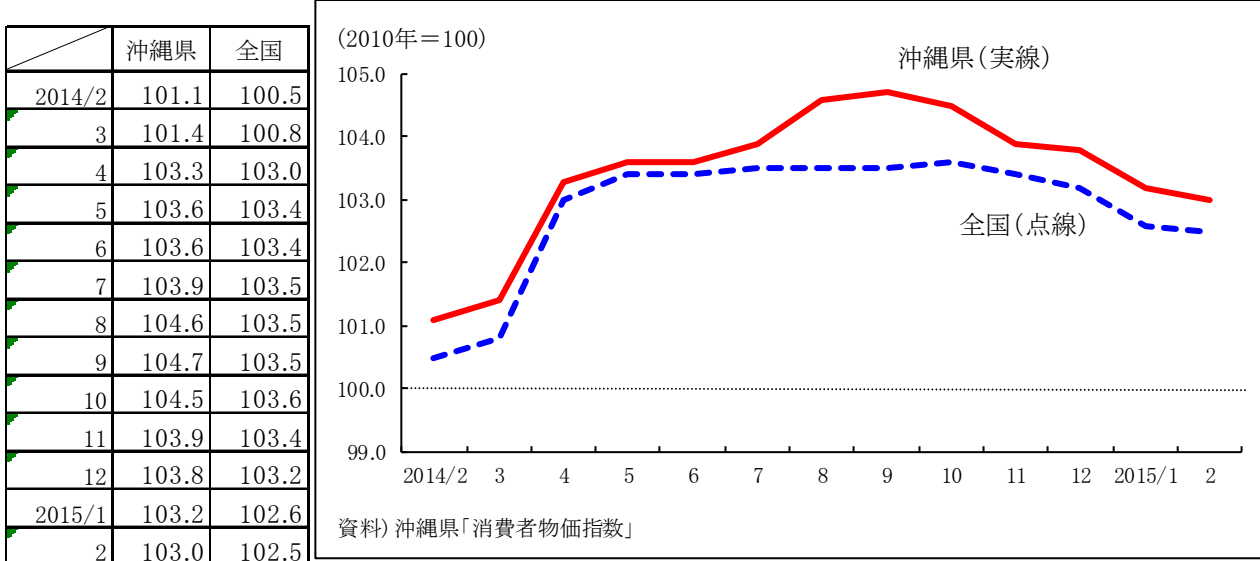
	大口電力 使用量	前年 同月比
2014/2	59.7	△1.8
3	69.2	8.1
4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9
6	75.1	3.4
7	78.0	1.8
8	84.4	7.0
9	80.4	1.5
10	78.6	4.1
11	75.0	2.3
12	70.3	0.4
2015/1	66.8	2.6
2	62.5	4.6



2月の大口電力使用量は、全体で62.5百万kWhとなり、前年同月を4.6%上回りました。内訳では、「鉄鋼工業製造業(同6.2%減)」が生産量の減少などで前年同月を下回ったものの、「石油・石炭製造業(同174.8%増)」が前年の定期点検による反動増などから上回りました。

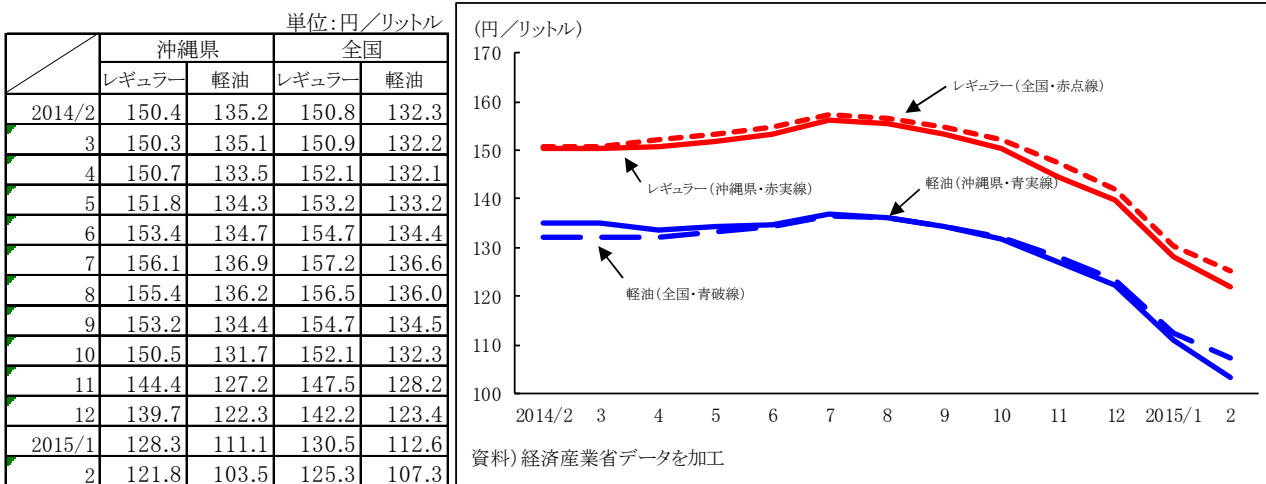
■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。



2月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比1.8%上昇し、103.0となりました。内訳をみると、調理食品を含む「食料(同4.2%増)」や「教養娯楽(同3.7%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格(税抜き)…レギュラー、軽油価格はともに前年同月を下回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

注) 本データについて消費税引き上げに伴い、当月より税抜き価格を表示している。

2月のガソリン小売価格等(税抜き)において、原油価格の下落などで県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より19.0%、軽油小売価格は前年同月より23.4%下落しました。